



S.Naka

THE MIYAKO STAKES

第15回 みやこステークス (GⅢ)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 40,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,000,000円 4,000,000円
付加賞 532,000円 152,000円 76,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

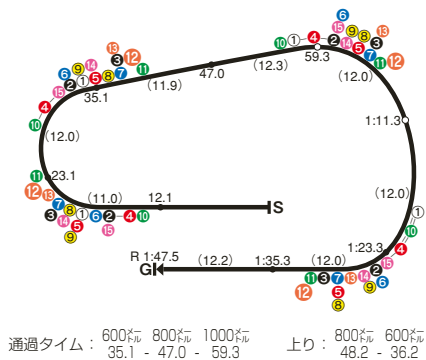
3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳55^{kg}・4歳以上57^{kg}、牝馬2^{kg}減、2024.11.2以降GⅠ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2^{kg}増、
牝馬限定GⅠ競走またはGⅡ競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1^{kg}増、2024.11.1以前のGⅠ競走(牝馬限定
競走を除く)1着馬1^{kg}増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.11.9 京都 小雨・不良 ダ1800m (国際 指定)

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑫	ダブルハートボンド	牝4	55	坂井瑠星	R1:47.5	2-2-1-1	36.2	476(±0)	6.0	大久保龍志(栗東)	110
2	⑤	サイモンザナドゥ	牡5	57	川田将雅	クビ	8-7-6-4	35.7	474(-6)	19.6	小林真也(栗東)	113
3	④	ロードクロノス	牡4	57	横山和生	3	11-11-10-10	35.8	494(±0)	6.8	四位洋文(栗東)	108
4	⑧	ラムジェット	牡4	58	三浦皇成	アタマ	14-14-13-13	35.3	516(±0)	8.4	佐々木晶三(栗東)	110
5	③	ドゥラエレーデ	牡5	57	C.デム-ロ	3½	4-3-3-3	37.1	524(-5)	19.7	池添 学(栗東)	
6	⑨	ブライアンセンズ	牡5	57	高杉史朗	クビ	6-6-6-4	37.0	524(+14)	22.3	斎藤 誠(美浦)	
7	⑨	アウトレンジ	牡5	58	松山弘平	3½	8-9-8-8	37.3	498(+4)	3.1	大久保龍志(栗東)	
8	⑫	デルマソトガケ	牡5	57	団野大成	2	12-13-10-12	37.3	528(±0)	71.6	須貝尚介(栗東)	
9	⑦	シゲルショウグン	牡5	57	幸 英明	クビ	4-3-3-4	38.1	526(+6)	11.6	大橋勇樹(栗東)	
10	④	ベリール	牡5	57	佐々木大輔	1¼	6-7-8-8	37.8	482(-4)	7.9	黒岩陽一(美浦)	
11	⑪	レヴォントゥレット	牡4	57	西村淳也	3	1-1-2-2	39.0	496(-1)	26.8	矢作秀人(栗東)	
12	②	ノースブリッジ	牡7	57	岩田康誠	¾	12-11-10-10	38.4	500(±0)	36.0	奥村 武(美浦)	
13	⑬	レイナデアルシーラ	牝3	53	田口貴太	6	3-3-3-7	40.0	516(+4)	27.3	西園正都(栗東)	
14	⑩	エアロノア	騾8	57	北村友一	大差	15-15-15-14	44.9	490(+8)	152.6	笹田和秀(栗東)	
中	①	サンデーファンデー	牡5	58	浜中 俊		8-9-14-15		524(±0)	50.1	東田明士(栗東)	

単勝◎600円(2^{kg}) 複勝◎220円(3^{kg}) ⑤380円(7^{kg}) ⑥200円(2^{kg}) 枠連③-⑦1,510円(6^{kg})
馬連⑤-⑫5,270円(19^{kg}) ワイド⑤-⑫1,720円(20^{kg}) ⑥-⑫780円(6^{kg}) ⑤-⑥1,300円(15^{kg})
馬単⑤-⑫8,490円(31^{kg}) 3連複⑤-⑥-⑫8,450円(27^{kg}) 3連単⑤-⑥-⑫49,680円(151^{kg})
5重勝◎⑥⑬⑭5,540,300円(95票) 対象競走：東京10R/京都10R/福島11R/東京11R/京都11R



アラカルト

- ・坂井瑠星騎手、大久保龍志調教師ともにみやこS初勝利
- ・キズナ産駒はJRA重賞47勝目
- ・4歳馬の勝利は21年メイショウハリオに続く通算8回目
- ・牝馬の勝利は初
- ・勝ちタイム1:47.5は3歳以上ダート1800mのJRAレコード
- ・ダブルハートボンドの馬体重476^{kg}は本競走優勝馬の最少馬体重記録
- ・サンデーファンデーは競走中に異常歩様となったため最後の直線コースで競走中止
- ・ダブルハートボンドはチャンピオンズC(GⅠ)に優先出走できる

ダブルハートボンド *W Heart Bond*

牝 鹿毛 2021.2.3生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・南シルクレーシング 栗東・大久保龍志厩舎
馬名意味・二つの+愛情をつなぐ。父名、本馬の馬体より連想

パーシステントリーUSA系 F20-b

キズナ 青鹿毛 2010	ディーブインバクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	キャットクイルCAN 鹿毛 1990	Storm Cat Pacific Princess
パーシステントリーUSA Persistently 栗毛 2006	Smoke Glacken 芦毛 1994	Two Punch Majesty's Crown
	Just Reward 栗毛 1999	Deputy Minister Heavenly Prize

5代までのインブリード：Mr.Prospector M4×M5
Northern Dancer S5×M5×M5

INTERVIEW

菅原亮 厩舎長(ノーザンファーム空港)

未勝利戦からの快進撃に驚きました

軽さのある走りや柔軟性の高さからクラシックでの活躍も想像したのですが、アクシデントが続く牧場で調整していた時間が長く、無事にデビューできるのかと不安にもなりました。未勝利戦からの快進撃には驚きましたが、今回はメンバーも揃っただけに、勝ちきってくれた時はただただ強いと思いました。管理に携わった関係者の皆さんには感謝がありません。

S.Setoguchi



外傷や脚部不安により、デビューは3歳8月まで遅れた本馬だが、既走馬相手の初陣を6馬身差、1勝クラス戦は大差で圧勝。その後には判明した骨折から復帰した後も快進撃は続き、6月の三宮Sまで無傷の5連勝を飾った。初めて重賞に挑んだ前走のブリーダーズゴールドCは2着に敗れたものの、牡馬混合の重賞で即座に巻き返し、初の勲章を獲得。再び勢いに乗って一気に頂点へ駆け上がるか、次走のチャンピオンズCが楽しみだ。

サイモンザナドゥが詰め寄ってきたゴール前でも、粘り強い末脚を発揮したダブルハートボンドが、相手の追撃をクビ差に抑え込んだ。

秋のGⅠシリーズの中休みにあたる日曜日、京都競馬場は朝から雨に見舞われ、チャンピオンズCの前哨戦と位置付けられているみやこSは不良馬場を舞台に争われた。ダートのJRAレコードで決着したレースを制したのは「対抗候補の筆頭格」と目されていた2番人気のダブルハートボンド。器の大きさを随所でアピールしながら出世の階段を駆け上がった才媛が、レース史上初の「牝馬制覇」を達成した。隣り合わせの枠から馬体を並べ、互角の勢いで飛び出したのが日本テレビ盃の2着馬レヴォントウレットとダブルハートボンド。坂井瑠星騎手は内のレヴォントウレットを先に遣り、ピタ

リとその2番手につけてレースを運び、雨の影響で高速化したダートに緩まないラップが刻まれていくなか、浦和記念、平安Sと重賞を2勝、前走の帝王賞でもクビ差の2着に食い下がり、頭ひとつ抜けた支持を集めたアウトレンジは中国の外を追走。タイトルの手前で惜敗金15万2千着、エルムS2着が続く3番人気のロードクロノはスタートの遅れから巻き返し、1番入気馬の直後で反撃の機会を窺った。

レース史上初の牝馬による勝利

父キズナ

北海道新冠町 株式会社ノースヒルズ生産 中央、仏14戦7勝(日本ダービー^{G1}、大阪杯^{GⅡ}、京都新聞杯^{GⅡ}、ニエル賞・仏^{G2})、最優秀3歳牡馬、16年から供用。24年日本リーディングサイヤー、23、24年日本2歳リーディングサイヤー〔代表産駒〕ジャスティンミラノ(皐月賞^{G1})、ソングライン(安田記念^{G1}2回、ヴィクトリアマイル^{G1})、アカイト(エリザベス女王杯^{G1})、ナチュラライズ(東京ダービー^{JRA I}、羽田盃^{JRA I})、ディープボンド(阪神大賞典^{GⅡ}2回、フォワ賞・仏^{G2}、京都新聞杯^{GⅡ}、天皇賞(春)^{G1}2着3回、有馬記念^{G1}2着)、シックスペンス(中山記念^{GⅡ}、毎日王冠^{GⅡ}、スプリングS^{GⅡ})、クイーンズワーク(金鯱賞^{GⅡ}、ローズS^{GⅡ}、クイーンC^{GⅢ}、ヴィクトリアマイル^{G1}2着)、ハスラットレオン(ニュージーランドトロフィー^{GⅡ}、ゴドルフィンマイル・首^{G2})、エリキング(神戸新聞杯^{GⅡ}、菊花賞^{G1}2着)、他に重賞勝ち馬多数

母パーシステントリーUSA

北米16戦4勝(バーソナルエンサインS^{G1}、フリゼットS^{G1}2着、メイトロンS^{G2}2着、ベルデイルムS^{G1}3着)、11年輸入

トーセンゲイル(12 牝父ディーブインバクト)中央4戦0勝、地方4戦0勝
パーシーズベスト(13 牝父ディーブインバクト)中央20戦2勝
ステッドファスト(14 牝父ディーブインバクト)中央5戦0勝、地方18戦2勝
オブセッション(15 牝父ディーブインバクト)中央4戦2勝(シクラメン賞)
ブレイヴジャッカル(18 騾父ダイワメジャー)中央25戦3勝、障害1戦0勝
エバーフレッシュ(19 牝父ハーツクライ)中央6戦0勝

ダブルハートボンド 本馬(21 牝父キズナ)中央6戦6勝(みやこS^{GⅢ}、三宮S^{GⅡ}、舞鶴S、恵那特別)、地方1戦0勝(ブリーダーズゴールドC^{JRAⅢ}2着) 獲得総賞金121,692,000円

エンデューロ(22 牝父キズナ)中央3戦0勝、地方6戦0勝
(25 牝父インディチャンプ)

※16、20(流産)、17(生後直死)、23、24(不受胎)

祖母ジャストリワード Just Reward

アメリカ産 北米1勝

ボブル Bauble(05 牝父Tale of the Cat)不出走、クイーンゴッデスUSA(アメリカンオークス・米^{G1}、ペガサスワールドC牝馬ターフ招待S・米^{G3}、ロバートJフランケルS・米^{G3}、サンタアナS・米^{G3}、輸入繁殖牝馬)の祖母

パーシステントリーUSA(06 前出)

ダブルジャックポット Double Jackpot(09 牝父Broken Vow)北米0勝、ステイズインヴェガス Stays in Vegas(セニョリータS・米^{G3})の母